



2013年3月25日

内閣総理大臣 安倍晋三 様
防衛大臣 小野寺五典 様

日本YWCA
会長 俣野尚子
総幹事 西原美香子

沖縄県への辺野古新基地建設の埋め立て申請強行に対する抗議声明

3月22日、政府は、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設先として辺野古沿岸部の埋め立て申請書を沖縄県に提出しました。これは、沖縄の人々の民意を踏みにじるものです。

沖縄には、日本にある米軍基地の74%(占有面積比)が集中しています。米軍兵士や軍属による性犯罪などの事件・事故があとを絶ちません。しかしながら日米両政府は、沖縄の負担を軽減するどころか、普天間飛行場を名護市辺野古に移設し、新しい基地を建設する計画を1996年に合意しました。以来、沖縄の人々は一貫して県内移設に強く反対してきました。沖縄県内41市町村の全首長・全議会が県内移設に反対しており、今年1月には、県議会議長や市町村長・議長ら県民代表が安倍首相と面談し、普天間飛行場県内移設に反対し閉鎖・撤去を求める「建白書」を提出しました。しかし、政府は沖縄の民意に耳を傾けることなく、今回の埋め立て申請の強行に至ったことに強く抗議いたします。

日本YWCAは、女性や子どもたちが安全で安心できる社会をつくり出すために、世界125か国のYWCAと連携して活動していますが、軍事基地自体が、女性や子どもたちの安全と安心できる社会を危機に陥れることは、沖縄をはじめ世界各地の女性たちの証言からも明らかです。また、軍事力により平和をつくり出せないことは歴史が証明しています。

日本YWCAは、沖縄の民意を真摯に受け止め、普天間基地の無条件返還を目指すことを切に要望し、辺野古新基地建設の埋め立て申請の撤回を強く求めます。

日本YWCA 【駿河台オフィス】〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室

TEL03-3292-6121 Fax03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp